

高知市外部人材活用促進事業委託業務公募型プロポーザル審査要領

高知市外部人材活用促進事業委託業務（以下「本業務」という。）に関する公募型プロポーザルの審査に関する事項を次のとおり定める。

1 審査の対象となる者

審査は、次の各号をすべて満たす者を対象に行う。

- (1) 別途定める、高知市外部人材活用促進事業委託業務公募型プロポーザル募集要領（以下「募集要領」という。）に規定する資格要件を満たす参加者
- (2) 募集要領に規定する期限内に、必要な書類のすべてを提出した参加者
- (3) 募集要領により、適正に書類を作成した参加者

2 審査項目及び点数

総合点数は135点とし、審査項目ごとの配点は別紙「審査基準」のとおりとする。

3 選定委員会

参加者から提出された提案書等を審査するため、選定委員会を次のとおり開催する。なお、選定委員会では、提案した参加者によるプレゼンテーションを実施する。

- (1) 日程 令和8年6月12日（金）予定
- (2) 手段 オンライン（Zoom）対応 ※URL等については別途通知する。
- (3) プレゼンテーション
 - ア プレゼンテーションの時間は、1者につき20分以内とする。
 - イ プレゼンテーション終了後、選定委員からの質疑の時間を20分程度設ける。
 - ウ プレゼンテーションの参加者数は1者につき3名までとする。
 - エ プレゼンテーションの開始時間は別途通知する。

4 審査方法

- (1) 選定委員会では、選定委員会におけるプレゼンテーションに対する審査を行う。
- (2) 各選定委員は、プレゼンテーションと質疑の終了後、別途定める「審査基準」に基づいて審査を行う。
- (3) すべての参加者の審査終了後に、各選定委員の審査結果を集計し、総合評価点の高い者から順に候補者と次点者を決定する。
- (4) 審査の結果、最高点の者が同点で2者以上ある場合は、業務参考見積書の額が廉価な者を高い順位とする。また、業務参考見積書の額が同額だった場合、選定委員の合議の上で候補者と次点者を選定する。

5 委託先の候補者及び次点者の選定

- (1) すべての参加者のうち、総合評価点が最高位で、かつ本業務を遂行する能力を有する者を委託先の候補者（以下「候補者」という。）として選定する。ただし、最低基準点（総得点が満点の60%）以上の者だけを対象とする。したがって、本プロポーザルの参加者が1者のみの場合においても、最低基準点以上でなければ決定しない。
- (2) 総合評価点が候補者の次に高く、かつ本業務を遂行する能力を有する者を次点者として選定する（次点者についても、候補者と同様に最低基準点（総得点が満点の60%）以上の者だけを対象とする）。

6 その他

- (1) 審査のために配布した資料は、審査終了後、すべて回収する。
- (2) 審査結果の通知時に、候補者の名称及び所在地、総得点、その他の参加者（「A社」「B社」等と記載）の総得点を市のホームページで公表する。また、高知市行政情報公開条例に基づく公開請求があった場合には、その他の事項についても公開の対象となる。ただし、個々の選定委員の採点は公表しない。
- (3) 契約締結後に、契約相手方の名称及び所在地、契約締結日、契約期間、契約金額を市のホームページで公表する。

(別紙)

審査基準

審査項目	配点	審査の視点
1 企業の評価（経験値）	5	国や地方自治体と連携した当業務（類似事例可）の実績・成果が十分にあるか。
2 市内事業所等の有無	5	高知市内に主たる本社又は本店、支店、営業所等を有しているか。
3 参考見積額	5	事業費が委託上限を下回っているか。
4 企業の評価（業務遂行能力）	5	業務に必要な実施体制（人員体制や役割分担）が取られているか。
5 事業スケジュール	5	本業務全体のスケジュール管理が明確であり、目標達成に向け妥当であるか。
6 地域企業の参加促進	20	<ul style="list-style-type: none">・副業人材活用について認識が十分でない事業者にもセミナー参加を促す、具体的な広報・周知方法が示されているか。・事業想定マッチング数の目標達成に向けた具体的な取組が示されているか。・創業後間もない事業者や新規事業に取り組む既存事業者など、幅広い属性の事業者の参加が促進されるよう工夫が示されているか。
7 セミナー内容	20	事例やデータを活用し、企業や支援機関が外部人材活用についてのメリットを感じ、実際に行動を起こすようなセミナー内容であるか。
8 マッチングプラットフォームの活用	20	最適な人材とマッチングを図るため、複数のマッチングプラットフォームを利用し、適切な使い分けが可能であるか。
9 伴走支援計画	50	<ul style="list-style-type: none">・マッチング（外部人材決定）までの伴走支援の計画やプロセス、手法が明確で、各段階で効果的に行えるか。・マッチング（外部人材決定）後の課題解決に向けた伴走支援（フォローアップ）が適切で、各段階で効果的に行えるか。・事業の進捗や成果を測定するため、適切なモニタリング計画（主に頻度や手法）となっているか。
合計	135	